

理事長就任のご挨拶

会員の皆様

平素より本学会の活動にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

2020年11月19日に保坂前理事長の後任として、一般社団法人日本総合病院精神医学会（Japanese Society of General Hospital Psychiatry : JSGHP）の理事長を拝命いたしました東京女子医科大学の西村勝治と申します。

就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。



JSGHPは1988年に設立され、精神医学の重要なサブスペシャリティである総合病院精神医学、コンサルテーション・リエゾン精神医学を担う学会です。現在、2,241名の会員をかかえています（2020年11月10日現在）。

学会設立から32年が経ち、医療を取り巻く環境も変わり、国民が医療に求めるニーズも大きく変化しました。高齢化社会、多様性の時代において国民がより良く生き、選び、人生を終えていくなかで、JSGHPが医療において果たす役割はこれまで以上に大きなものになると、私は確信しています。私どものミッションは、未来を見据えた質の高い総合病院精神医学、コンサルテーション・リエゾン精神医学のサービスを、広く国民に提供できるようにすることだと考えます。

そのための方略として、いま思いつくだけでも以下のようなものがあり、これらを実現するために、現在、25の委員会が活動しています。

1. 専門医機構と連携してサブスペシャリティとしての位置づけを確たるものにするともに、専門医を増やし、後進を育成すること。
2. 全国隅々まで本サービスを提供できる医療体制を構築すること（均てん化）。

3. 臨床に基づき、臨床に資するエビデンスを創出し、本サービスの意義を発信すること。
4. 本サービスを広く国民に知っていただくこと。
5. 幅広いニーズに的確に対応できる多職種によるケア・システムを構築すること。
6. 他の精神医療領域、他の医学領域との信頼関係、有意義な連携・協働を構築すること。

今回、本学会での世代交代が大きく進みました。新理事 19 名のうち、3 分の 1 にあたる 6 名が新規に就任しました。また新評議員 149 名のうち、やはり 3 分の 1 にあたる 45 名が新規に就任しました。評議員の平均年齢も 57 歳から 53 歳に若返りました。本学会が設立された後に医師になった世代、医療職に就いた世代が評議員の多くを占めるようになりました。

この度の理事長就任にあたって私が最も重視したいことは、会員の皆様とともに JSGHP が目指すべき未来像、ビジョンを共有することだと考えております。そのために、早期に、本学会の将来に向けての基本構想、基本計画を検討する新たな委員会を立ち上げます。

会員の皆様のこれまで以上のご理解、ご協力が必要です。評議員の皆様におかれましては、ぜひいずれかの委員会にご参画ください。もちろん、多くの会員の皆様、特に若い世代の皆様におかれましても、ぜひ委員会活動にご参画ください。

これから 2 年間、清水 研副理事長、和田 健事務総長を始め、理事 19 名、監事 2 名で本学会をお預かりいたします。スピード感をもって、職務を確実に推し進めていく所存です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

令和 2 年 12 月